本の魅力を他者へ伝えるPOP広告作り

福井県立武生商工高等学校

活用目的	読書指導	利用指導		

本事例のねらい	紙のPOP広告や動画でのPOP広告を作ることを通して、読書に親しむきっかけをつくるとともに、本の魅力を他者へ伝える表現活動を行うことがねらいである。

本事例の概要 （学校図書館等を活用した項目に★印）

★紙のPOP広告作りと動画POP広告作り

司書教諭であり国語科教員の「国語表現」の授業の中で、本の魅力を他者へ伝える表現活動として、紙のPOP広告作りと動画のPOP広告作りを行っている。POPを作成する図書を図書室から選び、POPの内容やキャッチコピーなどを検討し、作品を仕上げる。POP作りを図書室で行うことで、図書室を身近に感じたり、生徒同士が本について語り合ったり、読書への関心について育むことができている。生徒たちは主体的かつ協働的に作品作りに取り組んでおり、どの作品も似たものがなく、一人ひとりの創意工夫が感じられる作品となっている。

POP例1：紙のPOP：選定図書　テレビ朝日「相葉マナブ」編
『毎日かんたん！相葉マナブの365日野菜レシピ』（株式会社文化工房）

POP例2；動画POP：選定図書　結城真一郎著『＃真相をお話しします』（新潮社）

ＰＯＰ例１：紙のＰＯＰ広告	ＰＯＰ例２：動画のＰＯＰ広告
	

本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）			実践のポイント
○	学校司書		生徒自身が本から受けた印象や感想を、どうすれば効果的に他者へ伝えることができるかを考えさせることが実践のポイントである。
○	司書教諭		
	その他の学校職員		
	ボランティア		
	公共図書館職員	左の具体的内容を選択してください	
	その他	（その他の具体的内容を入力してください）	

資料	この事例集へ掲載するにあたり、取り上げた図書の出版社に対して著作権の許諾申請を行い、各出版社より了承を得ている。